上信自動車道（嬬恋バイパス） バイパス整備事業

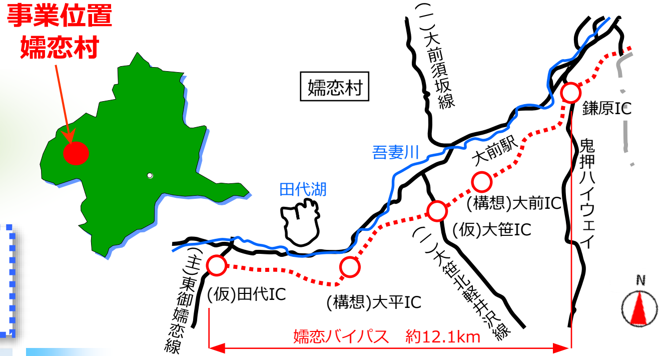
じょうしんじどうしゃどう つまごい

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります


事業位置
嬬恋村
嬬恋村
(一)大前須坂線
吾妻川
田代湖
大前駅
鎌原IC
鬼押ハイウェイ
(構想)大前IC
(仮)大笹IC
(一)大笹北軽井沢線
(主)東御嬬恋線
(仮)田代IC
(構想)大平IC
嬬恋バイパス 約12.1km
N

地元の声

- ・災害時の通行止めで村が孤立しないよう早く整備してほしい。（地元住民）
- ・道路が狭く車両のすれ違いに支障があるので、早く整備してほしい。（地元住民）

事業の概要

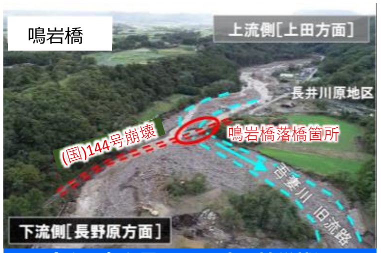
- ■ 事業箇所：嬬恋村鎌原～嬬恋村田代
- ■ 事業内容：バイパス整備 延長 12.1m 道路幅 9.5m
- ■ 事業期間：令和7年度～
- ■ 緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
- ■ 重要物流道路：該当
- ■ 現在の交通量：6,041台/日（国道144号）（R3年度）
- ■ 計画交通量 ：6,700～7,100台/日（バイパス）（R22年度） 2,300台/日（国道144号）

事業前

- ◆ 線形不良箇所が18箇所あり、交通事故の危険性がありました。
- ◆ 令和元年台風19号の影響による道路崩壊により、孤立集落の発生と約1年10ヶ月間の通行止めが発生し、長期にわたり迂回路の利用を余儀なくされました。

長野原方面
反対車線への
はみ出し
上田方面

線形不良箇所を通行する大型車両


鳴岩橋
上流側[上田方面]
長井川原地区
(国)144号崩壊
鳴岩橋落橋箇所
吾妻川 旧流路
下流側[長野原方面]

令和元年台風19号による被災状況

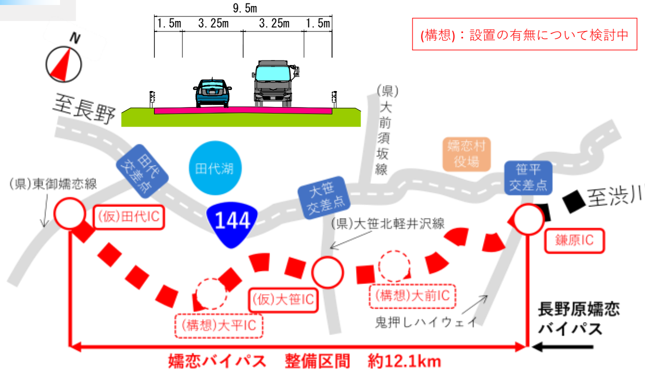
事業後

- ◆ 幅員が広く、見通しの良い道路となります。
- ◆ バイパスを整備することで、災害時等における孤立化リスクが軽減され、安定性と利便性が向上します。

事業後のイメージ

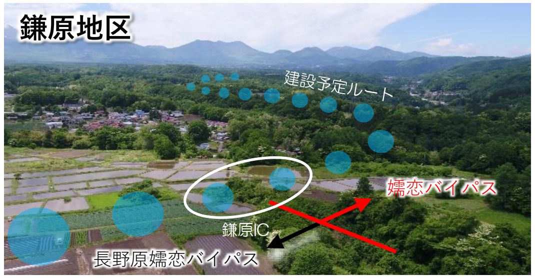
成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
災害時等の孤立化リスクの解消	現道通行規制 H18～R6：13回	バイパス完成により解消
線形不良個所	18箇所	バイパス完成により回避（18箇所減少）

事業の進捗状況（令和8年3月末現在）


9.5m
1.5m 3.25m 3.25m 1.5m
(構想)：設置の有無について検討中
N
至長野
田代交差点
田代湖
(県)東御嬬恋線
(仮)田代IC
144
大笹交差点
(県)大前須坂線
嬬恋村役場
笹平交差点
至渋川
(県)大笹北軽井沢線
鎌原IC
(構想)大平IC
(仮)大笹IC
(構想)大前IC
鬼押しハイウェイ
長野原嬬恋バイパス
嬬恋バイパス 整備区間 約12.1km

今、何をしているか

令和7年度は地元説明会を実施し、測量業務に着手しました。令和8年度は引き続き測量業務を進める予定です。


鎌原地区
建設予定ルート
嬬恋バイパス
鎌原IC
長野原嬬恋バイパス

事業のすすみ具合 事業開始 ●■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・● 事業完了